

## 2025年 中学入試算数講評:桜蔭中学校

50分という制限時間の中で、煩雑な計算を必要とする問題が多い上に、文章量が多く問題を理解すること自体が大変であったり、非常に複雑な状況整理を行う必要があったり、高度な思考力を要求される問題があったりと、中学受験全体の中でも最もタフな問題群であることが同校の算数入試問題の特徴です。

ー昨年から、3年連続で、歴代でも最も負荷が高い問題群といえそうです。

### 大問2A

デジタルで数字を表す時、7つの場所のオンオフで、0から9までを表すことが多いですが、それらのうち2箇所が故障しているとき、「本来表そうとした」記号(数字とは限らない)が何通りあるかという問題です。最後の問題は、じっくり考えるには面白い題材ですが、本番の試験時間内で正解した受験生はいないかもしれません。

大問2B 見たことのないような見た目の出題で、びっくりした受験生がいたかもしれませんが、内容としてはそこまで複雑であったり難解であったりというわけではありません。

### 大問3

旅人算で、同校を受ける受験生であれば複雑な状況ではないのですが、何しろ計算がとても煩雑です。

### 大問4

じっくり時間を使えば面白い場合の数の問題ですが、最終問題でかなり厳しい制限時間がある中、正確に状況を整理していくことが要求されています。この問題を含め、同校に挑戦する受験生は、このタフな入試問題に挑んでいるだけでとんでもなくすごいことです。

2025年2月1日  
ワンダーファイ代表 川島 慶